

委託事業（乳幼児家庭を対象とした地域子育て応援事業）でのモデル実施について

1. 事業内容

子どもに必要な未来に向かう力などを育むため、様々な機会を通じて多様な保護者への支援を行うとともに、その充実を図るため、保護者を支援する様々な人材に対して必要な知識の習得等の研修を行う。また、これにより、地域全体で子育て家庭を支えることにつながる。

大阪府より、2市（豊中市、泉大津市）へ委託し、この取組みをモデル実施する。

委託を受けた2市では、次に示す①②の取組をともに実施し、その具体的な方法と成果を取りまとめる。

- ① 乳幼児期に意欲や思いやりなどの未来に向かう力を育むことを目的に、多様な子育て環境にある保護者に対し、様々な機会を通じて支援を実施。

実施にあたっては、子育て家庭の環境は様々であることから、子育て講演会の実施や、乳幼児健診等の機会を活用して情報伝達する等、複数の取組を行い、多様な保護者に対して支援を行う。

- ② 地域で子育て支援に関わる各機関・団体及び地域の方々が連携し、目標を共有しながら多様な環境にある保護者を支援するため、意欲や思いやりなどの未来に向かう力の育成や、子育て家庭の支援に関する研修の実施。

2. 委託市の主な取組みについて

豊中市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児期における未来に向かう力の育みの重要性の啓発と、子育てにやさしい地域づくりをめざす一環として、子育て講演会を実施し、乳幼児の保護者や、地域で乳幼児の保護者に関わりのある方などが、乳幼児期における子育ての在り方を考える機会にする。 ・ 地域における子育て支援体制の充実に向けて、子育て支援に係る研修会を実施し、子育て支援に携わる機関・地域組織間の連携・ネットワークの構築、支援スキルの向上などを図る。 ・ 日常的に未来に向かう力の育みを意識していただけるよう、公民館事業など、様々な機会でのリーフレット「乳幼児期に育みたい！未来に向かう力」を活用する。
泉大津市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定こども園などの就学前施設に子どもが通う保護者や、子育てひろばに参加した保護者などへ、リーフレット「乳幼児期に育みたい！未来に向かう力」を活用した啓発を行う。 ・ 家庭教育支援サポーターによる個別の家庭教育支援の際に、乳幼児のいる家庭へ、未来に向かう力の育成を含めた子育てについての啓発を行う。 ・ 未来に向かう力の育成を始め、子育てに関するテーマでの講演などを行う「家庭教育フォーラム」を福祉部局と合同で開催し、保護者の意識啓発を行う。 ・ 未来に向かう力に対する理解を深めるため、就学前施設教職員や子育てひろば職員、地域人材等への研修会を実施し、地域全体で子育てを支援する体制の充実を図る。